

相内の虫送り&太宰治生誕110年記念 フェスティバル&消防団定期観閲式



6月19日、当市が誇る文豪・太宰治が生誕から110年を迎えました。これを記念した様々なイベントを通じ、改めて太宰、そして太宰を育んだ金木の魅力をこれからもしっかりと伝えていきたいと思っています。
8月は、令和初の五所川原立佞武多が開幕します！地域の皆さんと共に楽しみ、大いに盛り上げてまいります。

6月8日 相内の虫送り

6月8日、五穀豊穰と無病息災を願い、相内の虫送りが行われました。相内の虫送りは、津軽一円で行われている虫送りの原型といわれ、約450年の歴史を誇ります。

今回、はじめての参加となりましたが、子どもから大人まで、そして沿道の人々も思わず一緒になって踊る様子に、改めて地域にしっかりと根付いた伝統文化であると感じました。

私も皆さんに教えてもらい、楽しい時間を過ごすことができました。来年もぜひ参加したいと思います。



6月22日 太宰治生誕110年記念 フェスティバル&映画祭

当市が誇る太宰治の生誕110年を記念し、6月22日、23日の2日間、生家「斜陽館」を中心にフェスティバルと映画祭を開催しました。

斜陽館でのお茶会やお酒を嗜めるバーなど普段体験のできない催しや、太宰をテーマにした朗読会、ランタンの色付け体験など、多くの来場者で賑わい、好評を博しました。

私もお茶会に参加し、郷土の文豪に思いを馳せながら頂いたお茶は格別美味しく感じました。

また、映画祭では、県内初上映を含む希少な8作品を生誕の地である金木で上映することができ、たいへん意義深いものであったと考えています。

ご来場の皆さんには、2日間、太宰の魅力に酔いしれ、存分にお楽しみただけたものと思っています。



6月23日 消防団定期観閲式

6月23日、五所川原市消防団による令和元年度定期観閲式が行われました。多くのご来賓、観客の皆さんを前に、規律正しく迅速確実に活動する姿を拝見し、たいへん心強く感じました。

また、特別参加の幼年消防クラブの皆さんの元気いっぱいに行進は、たいへん微笑ましく、観閲式に花を添えてもらいました。

先日も新潟、山形の両県を中心に強い地震が発生しましたが、近年、各地で地震をはじめ、集中豪雨や土砂災害など、これまでにないような規模の自然災害が猛威を振るっています。

市としましても、地域の皆さんが安心して暮らせる地域づくりにしっかりと取り組んでまいります。



つくね芋焼酎「雲漢」・りんごリキュール酒「アップルジュエリー」が販売されました

ごしょつがる農業協同組合が新たにつくね芋焼酎「雲漢」とりんごリキュール酒「アップルジュエリー」の販売を開始し、7月5日、市長を表敬訪問しました。

今回販売された「雲漢」と「アップルジュエリー」はどちらも原料を100%県内産にこだわり、原料は五所川原市特産のツクネイモを、コメは「まっしぐら」を使用しています。7月4日から同農協の農産物直売所「まるっと新鮮館」(市内福山)と農業資材などを取り扱う「グリーンセンター」(つがる市木造)で販売されています。販売数量は「雲漢」が1,750本限定、「アップルジュエリー」が720本限定となっています。

斉藤組合長は「以前の焼酎に比べて飲みやすい味に仕上がった。規格外品を原料とすることで、農家の所得向上となれば良い」と話しました。



今回販売された「雲漢」(右)と「アップルジュエリー」